

# トワロン「全従業員で挑むモノづくり」 社内コンペでB to C商品を開発

## 藤本社長「ものづくりの楽しみと喜びを感じて」

被覆線メーカーのトワロン（本社・大阪府堺市、社長・藤本和隆氏）は先月から、従業員が社内コンペの中で開発した商品やECサイトで販売している。市場調査や開発、製造、プロモーションといった一連の



ものづくりをチームで行うことで、部署間のコミュニケーションやマーケティングの深化につながる考えだ。

全従業員を3チームに分けて、自社製品の被覆線を用いた新商品開発を行った。チームは営業・事務・製造と各部署から満遍なく構成。発売開始日を2023年7月と定め、21年2月より取り組みを始めた。物を作って売ることがゴールではなく、売れて初めてゴールという考えの中から、三つの個性的な製品が生まれた。

発売した製品は次の通り。



7月からECサイトで販売中。写真上から「ドリ・スタ」、「ブレイド」、「そのままポイ！」



藤本社長

定。賞を贈る予品質向上にもつなげていきたい」と話す。

「紙コップで楽しむ本格コーヒー」「ドリ・スタ」

「縁を結ぶ」、「物に伸ばす技術を開発し、筒状に巻き取った丸い癖のあるままに、一般のゴミ袋にセットするだけで自立したごみ箱として活用可能。

「製造は売る大変さや事務の必要性を、営業はものづくりの大変さや、各部署のそれぞれの業務を理解すること、ものづくりの楽しみと喜びを感じてほしい」と狙いを語り、今後、B to C向けの商品開発・販売を拡大していく中で、「これをきっかけにし、従業員が同じ方向を向き、互いに関心を持つこと」で、面白いアイデアが生まれる。また、被覆線そのもののさらなる品質向上にもつなげて

作成した。紙コップをド

被覆線スタンドにはめ

込むだけで、簡単にド

リップが可能。キャン

プなど屋外での使用

や、面倒くさがりの人

をターゲットにしてい

る。実際に従業員が奈

良県の自家焙煎コーヒ

ーショップ「iTO

COFFEE」に足を

運び、商品協力の契約

を行っており、ブレ

ドコーヒーとセットで

の販売を実現してい

る。

▽伝統工芸の紐紐を

被覆線で表現「ブレ

イ

テリア向けに販売して

いく。

▽廃材の樹脂をリユ

売り切ることを目標に

している。

年末には表彰式を行

予定で、一

番多く売

上げたチ

ムには社

賞を贈る

予品質

向上に

もつな

げてい

きたい

と話す。

ース、簡易型ごみ箱

「そのままポイ！」

SDGsの項目の一

つである「天然資源を

効率よく使用する」を

コンセプトに、被覆線

を製造する上で発生す

る樹脂をリユースし

た。一度熱を加えた樹

脂をシート状にフラッ

トに伸ばす技術を開発

し、筒状に巻き取った

丸い癖のあるままに、

一般のゴミ袋にセット

するだけで自立したご

み箱として活用可能。

が開発した柔らかな被

覆線を用いて、静岡県

のため、そのまま燃える

ごみとして出すことが

でき、使用後の環境に

も配慮している。設置

業はものづくりの大変

さや、各部署のそれぞ

れの業務を理解するこ

とで、ものづくりの楽

しみと喜びを感じてほ

しい」と狙いを語り、

今後、B to C向けの商

品開発・販売を拡大し

ていく中で、「これを

きっかけにし、従業員

が同じ方向を向き、互

いに関心を持つこと

で、面白いアイデアが

生まれる。また、被覆

線そのもののさらなる

品質向上にもつなげて

いきたい」と話す。